



# 6月 えんだより



ともしび保育園 6月1日発行

## 「6月になりました」

いよいよ6月、梅雨入りの季節ですね。雨の日が多くなりますが、体調に気を付けながら、野菜の生長や夏の虫たちとの出会いなど、子どもたちと一緒に楽しいことを見つけ過ごしていきたいと思います。



LaQ (ラクキュー)

昨年まで、その日の給食サンプルが置かれていたケース（一階と二階の廊下）に、今年はきりん組のLaQ（ラクキュー）の作品が飾られています。きっかけは、きりん組の子どもたちからの声でした。4月の下旬頃です。“作った作品をどうしても飾りたい”と事務所に言いに来てくれたきりん組の子どもたちがいました。去年のきりん組が玄関に作品を飾っていたことを覚えていたようです。「何を飾りたいの？」と聞くと「赤と黄色のイセエビ」と教えてくれました。また玄関に飾ろうか…と考えたのですが、“そうだ！サンプルケースが空いてるじゃん”と思い出し、子どもたちに「ここはどう？」とサンプルケースの中に飾ることを提案しました。「え、いいの？」と初めはちょっと戸惑っている様子でしたが、「ライトが当たって良いと思うよ」と返すと、「よし！」と嬉しそうに笑っていました。今では作品も入れ替わり、他のクラスの子どもたちも「今日は何が入っているかな？」と興味津々で覗き込む姿が見られています。また、きりん組にあそびに行くと「今これを作ってるんだ」と製作中の作品を嬉しそうに教えてくれたり、「これはこうやって動くんだよ（何と可動式！）」と自信满满で説明してくれる姿もあり、さらにLaQ熱が高まっているようです。

もちろん全員がLaQをしているわけではなく、また飾るという選択をしない子どもたちもいるので、ケースの中には子どもたち全員の作品が飾られているわけではありません。しかし、友だちの姿を通し、頑張りが認められることや提案が受け入れられることを身近で感じることで、（表現方法がLaQでなくても）“きっと自分も見えてくれる・認められる”という安心感や、“自分は何をやってみようかな”という前向きな思いを持って欲しいと思っています。

今年度『とうきょうすくわくプログラム』という東京都の事業にともしび保育園も参加します。これは、子どもの探究活動を通じて非認知能力の育ちを支援するプログラムです。

（※非認知能力：知識や技術ではなく、テストの点数などで測れない「意欲・協調性・粘り強さなどの内面的な力」の総称。学力（認知能力）を支え、人生の幸福や社会での活躍に強く関わる「見えない力」として注目されています。）この活動に取り組む中で、あらためて職員全体で子どもに必要な関わりを学び直し、子どもの思いから始まる日々の生活を大切にしていきたいと思っています。

主任 三上 真紀